

令和元・2年度 大島地区研究協力校 奄美市立住用中学校 「ICT 利活用教育」 公開研究会

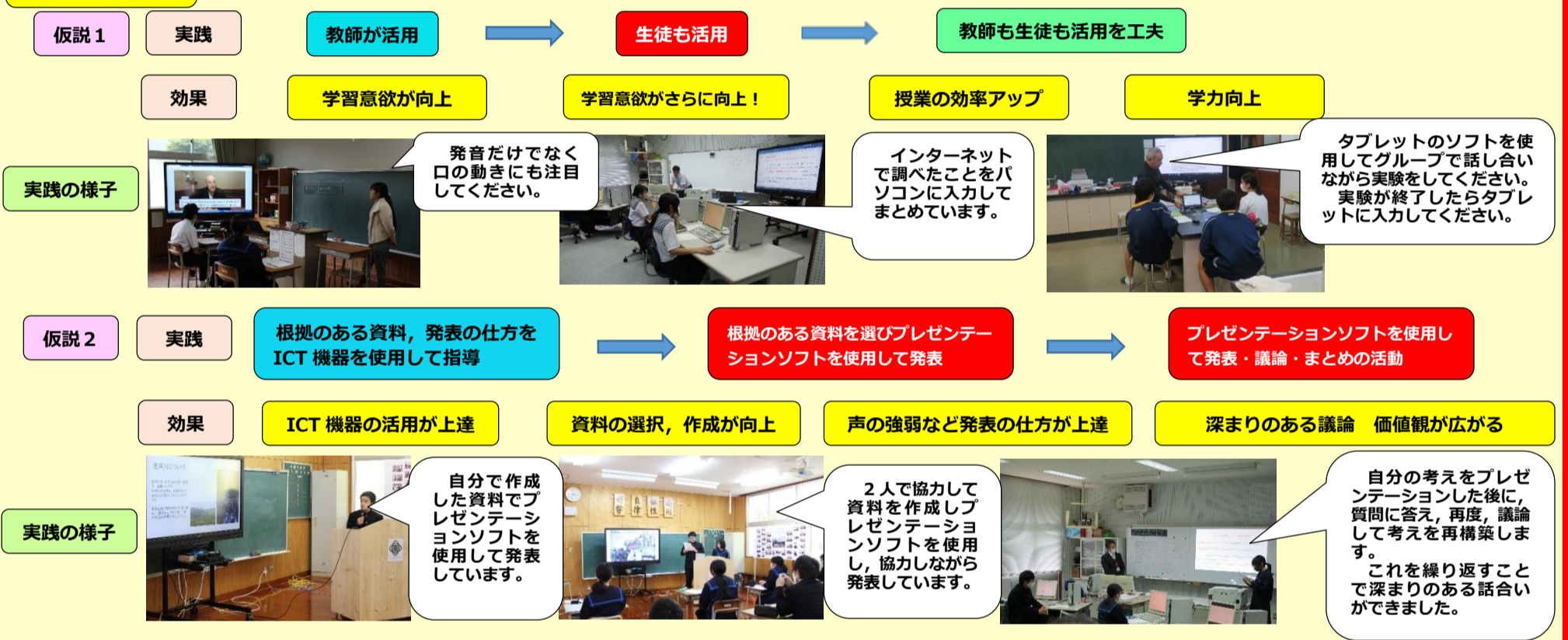
令和3年1月27日

研究主題 基礎・基本が定着し、共に学ぶ生徒の育成 ～ICT 機器を利活用した学習指導法の工夫～

研究仮説

- 仮説1 ICT機器を活用し、生徒の興味・関心を高め、学習意欲をもって授業に取り組ませることで、生徒が基礎・基本を身に付けることができるのではないだろうか。
- 仮説2 根拠をもった自分の考えを発表し、相手の考えを聞き、自分の考えを繰り返し再構築していくことで共に学ぶ生徒を育成できるのではないだろうか。

研究の実際



研究の成果

- 教師から**
- イラストや写真を使用するので生徒が顔を上げて話を聞くようになりました。
 - 生徒が自分たちでICT機器の操作をすることで積極的に授業に参加するようになりました。
 - 操作の仕方だけでなく、学習内容に対しても生徒からの質問が多くなりました。
 - 小テスト等の正解率が向上しました。
 - 生徒のプレゼンテーションソフトの活用の仕方が上達し、分かりやすい資料の選び方や示し方、意見の強調の仕方が上達しました。
 - ICT機器を活用することで事前の準備や授業の展開の中で時間の短縮ができるようになりました。
 - 生徒のICT機器の使用の仕方が上達し、自分の考えで動くようになりました。
- 生徒から**
- イラストや写真を見ながら説明を聞くことで授業が分かりやすくなりました。
 - 自分でICT機器を操作することができるので、授業がより楽しく感じられるようになりました。
 - 調べたいことがICT機器を使うとすぐ調べられるので時間を有効に使えるようになりました。
 - ICT機器を使用することで世界中の人の意見も知ることができるので考えが広がり、意見交換が積極的になり、異なる考えも認めやすくなりました。
 - プレゼンテーションソフトを頻繁に使い発表することにより、資料の選び方や示し方が上手になりました。また、発表することも聞くことも楽しくなりました。
 - パソコンの使用の仕方が速く上手になりました。

研究発表・研究授業・分科会・全体会の様子



公開研究会に参加された先生方より

- ICT機器の活用の可能性や方向性を学ぶことができました。
- 生徒それぞれのICT機器活用スキルが素晴らしいと感じました。生徒自身が活用することでスキルが向上することが分かりました。
- 少人数学校の深い個別指導のよさが出ていました。
- 参加したことでICT機器の活用を積極的に指導に取り入れたという気持ちになりました。
- ICT機器の活用はあくまでも「手段であり、目的ではない」という言葉が印象に残りました。どのように使えるか勉強したいと思いました。
- ICT機器の活用がなかなか難しいと感じていましたが、今回参加して気持ちが楽になりました。
- 活用例が、ありがたい資料でした。
- 多くの先生方と議論や情報交換ができ、充実した時間を過ごせました。
- ICT活用やGIGAスクール構想等に触れた指導助言が参考になりました。
- 少人数でのICT機器活用の効果的な手立てを考えるよい機会になりました。
- データの根拠が主観的だったので、客観的なデータで効果や課題が挙げられているとよかったですと思いました。